

096	寿賀のお礼 改まった文例
<p>鮮やかな黄色いれんぎょうの花が、茶色い草原に咲き初め、まちかねた季節の訪れとなりました。</p> <p>さて、このほどは、わたくしの還暦のお祝いに、ご夫婦でお気遣いください、この上なく嬉しく存じます。</p> <p>お選びくださったハンドバックのピンクは、同じピンクでもわたくしの一番好みの色合いで、どうしておわかりになったのか不思議でございます。日頃同僚には、わたくしはまだ若いのですから、年寄り扱いしたら怒りますよ、などと申しておりますのに、ふと気がつくと、頂戴したピンクに合うような、華やいだスーツがまったくありません。いつの間にか、自分で自分を年寄り扱いしていたようでございます。</p> <p>反省してこれからは、もう少し若やいだものを着るようにするつもりです。ありがとうございます。</p> <p>とりあえず、一言お礼のみ申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">かしこ</p>	